

国、県、他自治体からの応援体制

避難支援業務をサポート

今回の震災に伴い、国、県から職員が派遣され村民の避難をサポートしています。

県の職員は3月17日から、国の職員は4月5日から派遣されています。

派遣された職員は、災害対策チームの一員として村民の避難先の調整などに尽力していただいています。

また、村が計画的避難区域に指定された4月22日以降は、国が飯館村現地政府対策室を設置し、国と村の連絡調整を行っています。

さらに、群馬県高崎市の職員をはじめとした他自治体の職員が来村し、借り上げ住宅の書類確認や災害対策チーム、住民課での相談業務など住民の避難に直結する部署での業務をサポートしています。



▲災害対策チームのようす（飯館村役場第2会議室）



▲高崎市の職員による書類確認作業
（飯館村役場産業振興課内）



▲飯館村現地政府対策室のようす（ビレッジハウス）



▲災害対策チームでの業務に従事する愛媛県内子町職員（右）と県職員（共に飯野出張所）



計画的避難の開始

計画的避難の開始

5月15日。計画的避難に伴う住民避難が始まりました。

避難の方法は、自分で見つけた住宅を県の借り上げ住宅とし入居する方法、県や村が斡旋する住宅に入居する方法、仮設住宅に入居するまでの間、1次的に旅館やホテルなどに宿泊し、後日、仮設住宅等に改めて入居する方法などさまざまな方法を平行して実施しています。



▲住宅借り上げ申請のようす



▲仮設住宅の説明を受ける入居者（飯野町）



▲避難者用に建てられた仮設住宅（写真は相馬市内の仮設住宅）

避難者のお話し

幕川温泉吉倉屋に避難していた菅野昌基さん（宮内）と高橋恵美子さん（関沢）にお話を聞かせていただきました。

菅野さんは村を離れるさびしさのほか、村を離れずに済むのであれば農作物を親子で作れるのにと話していました。

高橋さんは昨年インゲンの出荷を始めたばかりで、昨年の反省を活かして今年頑張るつもりだった、と残念そうでした。

また、いつ村に帰ることができるのかが一番気になるとも話していました。

お二人は、仮設住宅へ行くことへの不安や村を離れるストレスを口にしていました。

菅野さんの「私たちはこんなものには負けない」という言葉がとても印象的でした。



▲お話を聞かせていただいた菅野さん（右）と高橋さん

飯舘村議会第6回定例会の開催



役場機能移転前最後の議会

飯舘村議会第6回定例会は6月14日から21日まで村役場議場で開催されました。

村議会定例会では、村の補正予算と条例改正が審議され、すべての議案が可決されました。

また、議員提案により村議会議場を福島市飯野町に移転することが議題とされ、こちらも可決されました。

今後の村議会は村役場飯野出張所3階の議場で開催されます。

飯舘村役場飯野出張所での業務開始

福島市飯野町で業務を開始

6月22日、村役場機能の飯野出張所への移転が完了し、開所式が行われました。

式には、福島市長や飯野町の住民代表のほか、村の議員や行政区長などが出席しました。

飯野出張所は1階に住民課と健康福祉課が、2階では産業振興課、教育課、生涯学習課、農業委員会が業務を行っています。

また、災害対策チームと飯舘村現地政府対策室も2階に設置されています。

3階には村長室のほか総務課、会計室、議会事務局が入っています。



▲飯野出張所開所式の様子



▲飯野町出張所庁舎（福島市飯野支所内）



▲飯野出張所での業務の様子

福島市と避難者支援協定を締結



「飯舘村計画的避難区域指定に伴う避難者の支援等に関する協定書」

5月30日、村は福島市と「飯舘村計画的避難区域指定に伴う避難者の支援等に関する協定書」を締結しました。

協定書には、村の出張所を福島市役所飯野支所（旧飯野町役場）内に設置することや、福島市が村からの避難者の支援を円滑に行えるよう便宜を供与することなどが記載されています。

◀福島市長と協定書を交わす村長

飯舘全村見守り隊の発足



▲飯舘全村見守り隊出発式の様子

～村内警戒態勢を強化～ 飯舘全村見守り隊発足・ セキュリティシステムの導入

全村避難に伴い、村内を24時間体制で巡視する飯舘全村見守り隊が発足しました。

村内20行政区、約400人の村民が見守り隊員として線量を管理しながら自分たちの行政区を見守ります。

6月6日には出発式が行われ、オレンジのベストを着た隊員たちが、24時間体制で村内の巡視を開始しました。

また、村内の希望する各家庭にはセキュリティシステムを設置し、侵入者などに備えることにしています。



▲警察と見守り隊との合同パトロールの様子

大臣・国会議員の来村

村には震災に際し、多くの大臣や国会議員が来村しています。
村や議会は、大臣らに対し村の現状や村民の思いを説明し速やかな支援を求めてきました。



新人職員入庁

震災にあって間もない4月1日。村役場に4人の新人職員が入庁しました。
入庁した新入職員は、ほかの役場職員とともに避難業務や幼稚園業務にあたっています。

①氏名②所属③入庁にあたっての抱負



い い ざ わ ふ さ み
①飯澤 房実

②草野幼稚園
③大変な状況ではありますが、子どもたちが毎日笑顔で過ごせるようにするため、自分にできる最大限のこと精一杯していこうと思っています。よろしくお願いいたします。



す だ し ょ う こ
①須田 祥子

②飯樋幼稚園
③幼稚園教諭として採用していただきました。
子どもたちはもちろん、村民の皆様のために誠心誠意務めて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。



も ち だ ふ み や
①糯田 文也

②産業振興課
商工観光係
③一日一日勉強し、先輩方のご指導を頂きながら、飯館村復興へ向け行動して参ります。よろしくお願いいたします。



こ わ た た か ひ こ
①木幡 貴彦

②飯樋幼稚園
③4月より、村職員となりました木幡貴彦です。
村民の皆様のため精一杯職務に務めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

農家の避難と帰村に向けた放射能除去の取り組み



▲収納された農機具

農家の避難に向けた取り組み

村やJAは農畜産関係者を対象にした説明会を実施しました。また、全農（全国農業協同組合連合会）は本宮市場で避難に際しての臨時セリを行いました。

さらに高価な農機具機械を残して避難する農家の不安を解消するため、村は村内施設でトラクターなどの農機具の保管場所を提供する措置をとりました。

本宮市場臨時セリの村内牛の出荷頭数

単位：頭

セリ日	子 牛	成 牛	計
4月12日	31	0	31
4月13日	41	0	41
5月9日	47	0	47
5月10日	53	14	67
5月26日	78	233	311
6月9日	41	0	41
6月10日	73	0	73
6月11日	112	182	294
6月23日	96	331	427
6月28日	51	229	280
計	623	989	1,612



▲公社の牛は東京の芝浦市場に出荷されました

放射能除去の取り組み

5月28日に国や県、村や村議会、さらにJAなどが農地土壌除染技術開発第1回会合を行い、村内農地の放射能除去の方法について話し合いました。

農地の放射能除去については、農地にひまわりを植える、水田の表土をはぎ取り作付けをするといった実験が既に村内で実施されています。

今後は、水田の代かき後の強制落水やはぎ取った表土の成分分析などが予定されています。



▲表土はぎとりのようす（八和木・前田地区）



▲農林水産大臣が来村し、ひまわりの種を播種しました

地震発生から計画避難までの主な経過（3月から6月まで）

3月11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	24日	25日	28日	29日	30日	31日	4月1日	6日	5日	4日
・午後2時46分、東北地方太平洋沖地震発生 ・役場第一会議室に村災害対策本部設置 ・村職員が村内の被害状況確認を開始 ・電気、電話、水道などのライフラインが断絶 ・午後3時36分ごろ東京電力福島第一原発1号機が水素爆発し建屋が大破 ・までいな家、いちばん館に避難所を開設 ・草野小学校体育館に避難所を開設 ・消防団がパトロールや避難所補助など村災害対策本部と連携した活動を開始 ・村女性消防隊、婦人会が避難所の炊き出しを開始 ・村内の電気が復旧 ・午前11時1分ごろ東京電力福島第一原発3号機が水素爆発し建屋が大破 ・飯樋小学校体育館、白石小学校体育館に避難所を開設 ・午前6時ごろ東京電力福島第一原発2号機、4号機が水素爆発し建屋が大破 ・国が東京電力福島第一原発から30㌔圏内を屋内退避区域に指定 ・村内電話回線が復旧 ・午後6時いちばん館前で放射線量が最大値の毎時44.7マイクロシーベルトを記録 ・やすらぎに避難所を開設 ・飯樋小学校避難所を閉鎖 ・行政区長会議を開催 ・災害支援のため福島県が職員を派遣 ・第2回村議会定例会を開催 ・村議会事故災害特別委員会を設置 ・自衛隊第一空挺団（千葉県）が入村。村内の給水活動などを支援 ・草野小学校体育館、白石小学校体育館、やすらぎの避難所を閉鎖 ・栃木県鹿沼市避難所への避難（第1陣）。避難場所は鹿沼市総合体育館（フォレストアリーナ）避難所に移動する際行われたスクリーニング検査で靴に付着した泥から高濃度の放射性物質が検出される ・村内避難所をすべて閉鎖 ・栃木県鹿沼市避難所への避難（第2陣）。20日現在村内外から509人が鹿沼市に避難	・国が村水道水から高濃度の放射性物質を検出したと発表 ・村民に簡易水道水、井戸水、沢水飲用自粛を要請 ・職員が全戸訪問し飲用水のペットボトルを配布 ・行政区長会議を開催 ・いちばん館で県がスクリーニング検査を実施（23日の2日間で1、330人が検査を受け全員が異常なし） ・第2回村議会事故災害特別委員会を開催 ・福島県放射線リスクアドバイザー高村昇さんによる講演会を開催。約600人が参加 ・第3回村議会事故災害特別委員会を開催 ・18歳未満の子どもの対象に甲状腺被ばく検診を実施（約300人が受診し、受診者全員に異常なし） ・飯館中学校体育館で村内幼小中学校保護者説明会を開催 ・国際原子力機関（IAEA）が村内の土壌から同機関避難指示基準の約2倍の放射性物質を検出したと発表 ・第4回村議会事故災害特別委員会を開催	・乳児を除く水道水の摂取制限を解除 ・役場委員会室で村職員、議員、行政区長らを対象に福島県放射線リスクアドバイザー山下俊一さんの講演会を開催 ・国際原子力機関（IAEA）が村内放射性物質の値を修正 ・第5回村議会事故災害特別委員会を開催 ・国（東北経済産業局）が災害支援のため職員を村に派遣 ・福島交通バスが運行を再開 ・県放射線リスクアドバイザー高村昇さんが、比叡、長泥、蔵平の3行政区を対象に原発事故の放射線リスクに関する座談会を開催 ・県農林水産部が土壌調査の結果を公表。前田地区、長泥地区の水田から基準値（5、000ベクレル）を超える放射性物質が検出される。 ・自衛隊第一空挺団（千葉県）が離村																			



▲スクールバスによる児童・園児送迎のようす



▲避難説明会のようす



▲鹿沼市への避難のようす



▲地震の被害を受けた道路（宿泊体験館きこり前）

5月2日										4月7日											
21日	19日	18日	17日	15日	10日	9日	30日	29日	26日	25日	22日	21日	20日	18日	16日	15日	13日	12日	11日	10日	9日
・国の復興構想委員会が村を視察 ・村の避難計画書を県に提出。優先順位を①乳幼児・妊産婦の居る世帯②18歳以下の子どもがいる世帯③比曽、長泥、蔵平行政区の世帯④その他のほかの世帯の4段階に分ける ・東京電力社長が来村し、役場第一会議室で村に謝罪 ・第10回村議会事故災害特別委員会を開催 ・乳児の水道水摂取制限を解除 ・村が乳幼児・妊産婦のいる世帯を対象に、いちばん館で避難説明会を開催 ・計画的避難に伴う避難者の第1陣が離村。10世帯64人が吉倉公務員宿舎、飯坂温泉赤川屋などに避難を開始 ・国が特別養護老人ホームいたてホームを含む村内9事業所の事業継続を承認 ・相馬農業高等学校飯館校が福島県教育センターで始業式 ・群馬県高崎市が災害支援のため職員を村に派遣 ・一般世帯を対象にした避難説明会を開催 ・比曽、長泥、蔵平の3行政区を対象に、いちばん館で原発事故の伴う健康診断および放射線相談会を開催。257人が健診を受診（22日）							・飯館中学校現地政府対策室を設置 ・第9回村議会事故災害特別委員会を開催 ・いちばん館で「愛する飯館村を還せ!!プロジェクト（大井利裕代表幹事）」が村民総決起集会を開催 ・村が各行政区集会所などで1人3万円の災害救援見舞金を現金給付 ・飯館中学校体育館で東京電力副社長謝罪、住民説明会を開催。約1、300人が参加 ・栃木県鹿沼市避難所を閉鎖							・第6回村議会事故災害特別委員会を開催 ・乳幼児・妊産婦の村外避難募集を開始 ・来村した鹿野道彦農林水産大臣に村から提言書と要望書を提出 ・近畿大学教授で医学博士の杉浦紳之さんが飯館中学校体育館で保護者を対象に放射線に関する講演会を開催 ・政府が計画的避難区域設定の方針を発表 ・計画的避難区域について、村が議会、商工関係者、行政区長に全村避難になることを説明 ・第7回村議会事故災害特別委員会を開催 ・第8回村議会事故災害特別委員会を開催 ・同委員会です今年の農作物作付け見送りを決定 ・国が村内の土壌からストロンチウムが検出されたと発表 ・県農林水産部が土壌再調査の結果を公表。村南部を中心に基準値を大幅に超える放射性物質を検出 ・村内6カ所で全村民を対象にした計画的避難の住民説明会を開始 ・乳幼児・妊産婦が福島市の吉川屋に避難を開始 ・飯館中学校多目的ホールで幼小中学校就学に関する保護者説明会を開催 ・福山副官房長官、平野達男内閣府副大臣、松下忠洋経済産業副大臣らが来村し村及び住民代表への説明会を開催 ・村内6カ所で全村民を対象にした計画的避難の住民説明会を終了。1、821人が参加 ・第4回村議会臨時会を開催 ・飯館中学校多目的ホールで合同入園式を同校体育館で小中学校合同の入学式を行う ・幼稚園、小学校、中学校の各校舎で始業式 ・川俣町内の幼稚園、中学校、高校の校舎をお借りし、村幼稚園、小中学校が授業を再開							



▲村議会事故災害特別委員会のようす



▲避難先相談のようす



▲村議会臨時会のようす



▲スクリーニング検査のようす

ひとのうごき

(平成23年2月21日から6月20日までに届け出のあったもの)

おくやみ



氏名	年齢	行政区
2月21日から3月20日まで		
田中 和枝	59	八木沢・芦原
菅野 ツヤ子	75	長 泥
八巻 一二	66	草 野
嶋原 定顯	83	長 泥
3月21日から4月20日まで		
佐藤 サツヨ	97	関根・松塚
齋藤 ハルイ	93	飯 樋 町
佐藤 博 道	64	深 谷
大槻 ミツコ	91	大 倉
坂本 榮	84	草 野
庄司 要 吉	89	草 野
山田 キ ミ	86	飯 樋 町
大内 恵美子	54	佐 須
杉浦 正文	61	伊 丹 沢
佐藤 アイ子	87	二枚橋・須萱
高野 ハ ル	90	前田・八和木
高橋 春江	41	比 曾
三坂 幸 雄	58	臼 石
高橋 カツイ	71	藤 平
高野 フチノ	83	前田・八和木
大久保 文 雄	102	宮 内
大和田 ツ マ	99	草 野
本多 アサヨ	89	二枚橋・須萱
4月21日から5月20日まで		
齋藤 高 子	78	深 谷
5月21日から6月20日まで		
緑 和 美	17	前田・八和木
川村 武	84	草 野
大久保 シゲノ	80	大久保・外内
青田 キ イ	93	前 田
齋藤 陸 子	60	藤 平
佐藤 ナ ミ	83	草 野
荒 多喜雄	78	飯 樋 町
鈴木 ハシメ	89	佐 須
木幡 ミイ子	83	草 野
大久保 一 男	66	宮 内

ご冥福をお祈り申し上げます

誕生おめでとう



赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
2月21日から3月20日まで		
佐藤 白 柊 くん	尚希・久美	宮 内
佐藤 玲 菜 ちゃん	翔大・梨花	関根・松塚
3月21日から4月20日まで		
佐藤 慎太郎 くん	修治・順子	前 田
山田 美 桜 ちゃん	学・恵	関根・松塚
庄司 大 華 ちゃん	航・美賀	深 谷
山田 安 土 くん	豊・あゆみ	関根・松塚
宇佐見 蘭 ちゃん	裕・里香	比 曾
4月21日から5月20日まで		
大内 陽 翔 くん	和夫・育恵	佐 須
5月21日から6月20日まで		
松下 直 生 くん	義光・景子	草 野

すくすくと育ててね

結婚おめでとう



氏名	出身地
3月21日から4月20日まで	
青山 正 則	草 野
佐藤 妃七子	伊達郡川俣町
4月21日から5月20日まで	
佐藤 匡	前 田
本田 里 紗	福 島 市
巻野 公 洋	伊 丹 沢
鈴木 智恵美	南相馬市
新谷 晃 弘	伊 丹 沢
下浦 宏 美	相 馬 市
中川 昭 彦	宮 内
千葉 裕美子	郡 山 市
5月21日から6月20日まで	
河野 奨 太	伊 達 市
阿部 莉 奈	二枚橋・須萱
太田 正 博	宮 内
菅野 しのぶ	伊達郡川俣町

いつまでもお幸せに

お詫びと訂正

広報いいたて3月号19ページに掲載した野崎さんのお子さんは晴木くんの誤りでした。また、同ページ中に掲載した末永佑樹さんの行政区は小宮の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

25日	22日	21日	14日	6日	6月1日	31日	30日	28日	27日	26日	25日	23日
・福島市飯野町に村役場飯野出張所を開設。村職員が1次避難所の健康相談や行政相談などの業務を開始 ・村公民館前駐車場を会場に飯館全村見守り隊が出発式を開催。当日から村内の防犯パトロールを開始 ・村議会定例会が開会 ・村議会6月定例会が閉会。補正予算や議会の福島市飯野町移転などの議案が可決 ・村役場機能が飯野出張所に移転。飯野出張所前駐車場で開所式を開催 ・「まていな希望プラン」発表 ・避難地域を対象にした牛のセリが終了。5月と6月のセリで1、612頭の牛が村を離れる。						・旅館、ホテル等村外の避難先からスクールバスが運行を開始 ・第5回村議会臨時会を開会。飯館村役場飯野出張所設置条例、飯館全村見守り隊の予算などの議案が可決 ・飯館中学校体育館で愛する飯館村を還せプロジェクト（大井利裕代表幹事）が「負けねど飯館ノ村民の集い」を開催。加藤登紀子さんがライブを行う ・村振興公社たい肥センターに農機具保管を開始（6月4日） ・計画的避難区域の和牛を対象にした臨時和牛競りが本宮市場で開催される ・ラオス、ベトナムの子どもたちから村の小学生にメッセージ入りの鯉のぼりが届く ・農林水産省鹿野道彦農林水産大臣らが来村し、「ふるさとへの帰還に向けた取り組み」として農地土壌除染技術開発の実証実験を開始 ・村と福島市の間で支援協定書を締結 ・国が長泥行政区内の観測点で積算放射線量20ミシーベルトを超えたと発表 ・村長が第6回原子力損害賠償審査会に出席						



▲避難先での記念撮影（中ノ沢温泉 白城屋）



▲群馬県高崎市から寄贈を受けた高崎だるま